2024年4月1日

産科婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「婦人科腫瘍性疾患における予後因子としての タンパク質発現解析」への協力をお願い

産科婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2015年7月28日～2029年3月31日の間に、当科において、婦人科がん手術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2029年3月31日

研究目的・利用方法：

がん細胞は自ら増殖し血管を新生して転移していきます。また細胞死や細胞老化を長く免れるシステムをもっています。これらの機能には無数のタンパク質が関わっており、特定のタンパク質を抑制する分子標的治療が近年盛んになっています。この研究では正常とは異なる発現をするタンパク質を観察し、それらの調節機構を明らかにすることで、腫瘍進展のメカニズムを解明し、婦人科腫瘍の新しい治療方法につなげたいと思っています。

研究に用いる試料・情報の項目：

・提供試料の分子標的治療のターゲットとなりうるタンパク質分子特異的抗体を用いた免疫組織化学的検査所見（HIF, IL-8, VEGF, FGF, PDGF等の血管新生関連分子、IL-6, MDR, MRP等の薬剤耐性に関わる分子、BAX, bcl2, PARP等のアポトーシス関連分子、EGFR, STAT, p38等腫瘍増殖に関する分子など）

・調査項目

- 1) 患者基本情報（年齢, 既往歴, 家族歴）
- 2) 検査結果（病理検査, 病期, 血液検査, 画像検査）
- 3) 治療経過（治療内容, 転帰, 予後）

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024年4月2日以降

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科 教授

氏名：磯部 真倫

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科

電話番号：058-230-8059

氏名：磯部 真倫

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp